

JIS

窓及びドアの熱性能—日射熱取得率の計算

JIS A 2103 : 2014

平成 26 年 4 月 21 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内山 和哉	一般社団法人住宅生産団体連合会 (積水ハウス株式会社)
	加藤 信介	東京大学
	橘 高義典	首都大学東京
	黒木 勝一	一般財団法人建材試験センター
	汐川 孝	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	立山 徳子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	棚野 博之	独立行政法人建築研究所
	永島 潮	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	西野 加奈子	建築・住宅国際機構
	服部 幸夫	断熱・保温規格協議会
	廣岡 隆	独立行政法人住宅金融支援機構
	本橋 健司	一般社団法人日本建築学会 (芝浦工業大学)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 26.4.21

官 報 公 示：平成 26.4.21

原案作成協力者：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

(〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-17-8 KDX 浜町ビル TEL 03-5640-0901)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 定義, 記号及び単位	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 記号及び単位	2
3.3 添え字	3
4 面積	3
4.1 グレージング面積及び不透明パネル面積	3
4.2 フレーム面積	3
4.3 グレージング複合体面積	4
4.4 窓面積	4
5 日射熱取得率の計算	4
5.1 窓の日射熱取得率	4
5.2 グレージング及び不透明パネルを含むドアセットの日射熱取得率	4
5.3 フレームの日射熱取得率	5
5.4 グレージング複合体の日射熱取得率	5
5.5 不透明パネルの日射熱取得率	9
6 境界条件	9
7 報告書	10
7.1 報告書の内容	10
7.2 フレーム断面図	10
7.3 板ガラス及び日射遮蔽物の光学特性及び日射遮蔽物の形状	11
7.4 窓全体又はドア全体の図面	11
7.5 計算に使用した値	11
7.6 結果の提示	11
附属書 A (規定) 代表的なフレームの熱光学特性	12
附属書 B (規定) 代表的なグレージングの日射熱取得率及び板ガラスの光学特性	13
附属書 C (規定) ブラインドの光学特性の計算方法	15
附属書 D (参考) スクリーン・障子紙・日射調整フィルムの光学特性	22
附属書 E (規定) フレームの日射熱取得率の詳細計算方法	23
附属書 F (規定) 二重窓フレームの日射熱取得率の計算方法	27
附属書 G (参考) 斜入射に対する板ガラスの光学特性の計算方法	29
附属書 H (参考) グレージング複合体の日射熱取得率の計算式の例	32
附属書 I (参考) ブラインドの光学特性の計算例	38
解 説	46